

令和6年度 福岡市バイオ燃料活用実証事業 実施結果について

トラックやトレーラーなどの**貨物車からのCO2排出削減が課題**となっていることから、令和6年度に環境局と港湾空港局が連携し、脱炭素に向けたチャレンジとして**バイオ燃料を活用した実証事業**を実施しました。

〔バイオ燃料〕
廃食用油などのバイオマス
(生物資源)を原料とする
燃料のこと



1 実証事業について

(1) 実証内容

以下の車両でバイオ燃料を使用し、CO2排出削減効果、エンジンへの影響の有無等を検証。



トレーラーヘッド
博多港ふ頭株式会社



し尿運搬車
公益財団法人ふくおか環境財団



灰運搬車
大成管理開発株式会社



給食配送車
九州商運株式会社



チルド車
広徳輸送株式会社



タンクローリー
松藤商事株式会社

※敬称略

(2) 実証期間

：令和6年7月～令和7年3月
供給するバイオ燃料がなくなり次第、順次終了

参考 走行エリア



(3) 使用したバイオ燃料

：B20 (HVO)〔商品名：サステオ〕



(4) 使用したバイオ燃料数量

：20,000L
〔トレーラーヘッド 10,000L
その他車両 各2,000L〕

- 博多港ふ頭株式会社 →東区アイランドシティ コンテナターミナル内
- 大成管理開発株式会社 →東区
- 広徳輸送株式会社 →博多区～東区
- 松藤商事株式会社 →県内全域
- 公益財団法人ふくおか環境財団 →中央区
- 九州商運株式会社 →城南区～早良区～西区

(5) 実施結果

通常の軽油とバイオ燃料との燃費比較は、以下の表のとおりです。

通常の軽油を使用した場合とバイオ燃料を使用した場合の比較は、同一の経路や積荷、気象条件ではないことから厳密には行えないものの、二酸化炭素排出削減効果は通常の軽油と比較して概ね20%であったことが推測されました。

また、実証試験走行中の内燃機関（エンジン）への影響や始動性や走行安定性などについての違和感の報告はありませんでした。

単位：km/L

企業名	車両	通常燃費	バイオ燃料燃費	差異
博多港ふ頭株式会社	トレーラーヘッド	1.5	1.4	-0.1
大成管理開発株式会社	灰運搬車	3.0	3.1	0.1
ふくおか環境財団	し尿収集車	3.9	3.4	-0.5
九州商運株式会社（車両①）	給食配送車	5.4	5.5	0.1
九州商運株式会社（車両①）		5.4	5.5	0.1
広徳輸送株式会社	チルド車	3.0	2.8	-0.2
松藤商事株式会社	タンクローリー	4.8	4.4	-0.4

2 実証事業のPR等について

(1) 広報啓発ステッカー

市民や事業者へ本事業をPRするとともに、バイオ燃料に関心をもっていただくきっかけづくりの一環として、実証事業を行う車両にPR用ステッカーを貼付し試験走行を実施しました。



(2) バイオ燃料活用についての事業者への働きかけ

本実証事業に参加していない運送事業者等に対して、本事業についてのPRやバイオ燃料の活用について働きかけを行うとともに、今後の活用についての意向をヒアリングしました。

【ヒアリングにおける所感】

- ・多くの企業がバイオ燃料の使用について興味を持っているものの、価格面や供給面（給油拠点の整備）に課題感がある様子。
- ・バイオ燃料（HVO）の品質・性能面について企業側の認知が不足していると思われるため、バイオ燃料の早期普及のためにも正しい情報発信が必要。

○本実証事業の委託事業者：増田石油株式会社（福岡市中央区）、カメイ株式会社（仙台市青葉区）

【問い合わせ先】

（事業全般・トレーラーヘッド以外の車両について）
環境局 脱炭素事業推進課
電話：092-711-4204
FAX：092-733-5592

（トレーラーヘッドについて）
港湾空港局 計画課
電話：092-282-7082
FAX：092-282-7771

